



介護の魅力②

介護は「快互」

遊びゴコロで、まっすぐ生きることを楽しもう！

いま必要なのは、利用者も介護者も「お互いが元気に、明るい気持ちになれる」遊びゴコロのある介護。お互いの意欲や気持ちでつながる、そんな「快互」が実践できている施設もたくさんあります。



Episode.1

楽しめないけど“楽しい”介護

ヘルパーステーションらくだ
介護福祉士

比嘉 まなみ

「やっていて良かった！」という瞬間の積み重ねが今をつくれます

介護職は楽な仕事ではありませんが、なぜ10年以上続けてこれたのかを振り返ると、利用者さんから多くの「愛」をいただいているからに他なりません。例えば言葉でやりとりするのが難しい利用者さんでも、表情やしぐさで意思の疎通が叶い、想いを共有できる瞬間があります。介護の原動力は、利用者さんから私自身の存在を受け入れてもらえること。これからも「やっていて良かった！」と思える瞬間を積み重ねていきたいです。



Episode.2

おじー、おばーの「深イイ」ことば

デイサービスセンターゆい
介護福祉士

安富祖 歩美

利用者さんから言われた一言で「介護」の“喜び”を実感しました

働きはじめて3年目のことです。当時100歳を超えた利用者さんがいたのですが、腕が少し不自由だったので、工夫して手先だけでも楽しめる手工芸を提案しました。すると「ああ、楽しい。私は戦争で学校に行けなくて、幼稚園しか出ていないの。でも今になって学校に来れてとっても嬉しいよ」と輝くような笑顔で喜んでくれました。その様子を見た時、「これが介護なんだ」という喜びとやりがい、そして感謝に満たされました。



Episode.3

“遊びゴコロ”の達人を紹介します

通所リハビリテーションアルカディア
介護福祉士

桃原 淳

ともに楽しむ。みんな笑顔になる。活力になる居場所をつくりたい！

日頃、体調や症状などで「楽しみ方」に制限が設けられる利用者さんも多いのですが、そんな時「ここに来て良かった」と思ってもらえる一人ひとりの“居場所”をつくるのが私たちの仕事。三線が弾けるので、皆さんに披露することもありますよ。「もっと弾いて！」「上手だねえ〜」と喜んでくれる、その笑顔が私の原動力です。「楽しませよう」ではなく、ワクワクしながら「自分も一緒に楽しむ」。その気持ちが一番大切だと思います。



Episode.4

ここは学びの宝庫！介護は「人生塾」

通所リハビリテーションアルカディア
介護福祉士

富原 唯

利用者さんとの出会いによって人生が何倍にも豊かになります

この仕事の魅力は、自分よりも人生経験豊富な利用者の皆さんと「生きる力」を共有できること。例えばリハビリで成果が表れた時に、利用者の皆さんの表情が明るくなる瞬間。その時を共に過ごすことで、私もまた“諦めない”ことの大切さを学ぶことができます。「介護」とは、人と人が支え合う一つのかたち。経験を積むにつれ、「その人自身を受け入れる」ことが素直にできるようになり、自分自身の人生も豊かになった気がします。